

# 研究開発力

## 基盤技術の深化

UACJは、国内外の先端研究機関と連携し、最新の技術や知見の獲得を通じて、材料設計・生産プロセスに関する基盤技術の深化を図っています。2019年度は、その取り組みの一つとして、産業技術総合研究所の中部センター内に設立した「UACJ-産総研アルミニウム先端技術連携研究ラボ」の活動を本格化させました。生産プロセス技術の改良から、新規表面処理の開発によるアルミニウムの新規用途探索、研究開発におけるデータサイエンスの活用に至るまで幅広い分野での共同研究を推進しました。また、海外ではR&D Center (Thailand)を通じて、タイの国家研究機関との交流を図っています。

また、これまでも共同研究を行ってきた北海道大学とは、革新的なアルミニウム材料の創出を目指した研究開発を通して、

アルミニウム産業の発展と人材育成を図るべく、産業創出講座「次世代アルミニウムイノベーション推進部門講座」を開設しました。この講座では、当社が100年以上培ってきたアルミニウムの多様な技術開発力と、北海道大学が持つ学術的知見を組み合わせ、社会的に高い付加価値を持つ材料を創出し、社会イノベーションに貢献することを目指します。



タイ国内の工学系学生を採用・育成する制度を確立し、その修了生がR&D Center (Thailand)で就労を開始しました。今後、優秀な人材輩出基盤にしていきます。

## 製品・利用技術の開発

UACJは、多くの工業的に優れた特性を有するアルミニウムを、幅広い産業分野へと展開させるための研究開発を行っています。NEDO※による「革新的新構造材料等研究開発プロジェクト」においては、高強度材の自動車部品への応用、アルミニウムリサイクルプロセスの開発、および車両環境中耐食性評価技術開発などを行っています。また、(株)日立製作所とは新材料開発を効率化するシステムを共同検証しています。コンピュータによる材料データの分析結果を開発期間の短縮などに活かし、自動車部材の軽量化やリサイクルしやすい缶材の早期実用化を目指します。このほか、SAPジャパン(株)、ドクターズ(株)

とは処方薬の開封有無を管理する「開封検知付アルミ箔を使用した服薬管理システム」の開発に取り組んでいます。これによって、当社ビジネスを「モノからコトへ」と転換していきます。

※ 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構



UACJでは、主要製造拠点があがる日本、米国、タイに研究開発拠点を設け、現地ニーズに応える製品作りをサポートするとともに、生産性向上に貢献する研究開発にも取り組んでいます。

## アルミニウムの力で新たな価値を生み出す「UACJイノベーションチャレンジ」を開始

「UACJイノベーションチャレンジ」は、UACJの研究開発を担うR&Dセンターが2019年から始めた新価値創出活動です。当社は、お客様の要望に確実に応えて高品質な製品を生み出すことを得意としてきましたが、今後はより積極的に自ら新しい価値を創り出し、さらなる成長を目指します。

イノベーションの起点となるアイデア創出においては、発想を柔軟にさせるため他メーカーや商社、学生なども参加するワークショップを実施しました。そのほかにも社員一人ひとりの情熱や気付きを起点とした取り組みを支援しています。



手を挙げた社員が、通常業務と切り分けて活動。自由に発想し、出てきたアイデアについて活発に議論しています。